

授業名(時間割表記)	コミュニケーションスキルアップⅠA	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	片岡紀予
学科・コース	スーパークリエイター科昼二1年A	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	北里大学卒業後、日油株式会社勤務。キャリアコンサルタント。精神福祉士取得、コミュニケーション、心理学講師						
授業の学習 内容	社会人になるための基本的なコミュニケーション力をつける。今後の研修、就職活動に向けて自己理解を深め、自分の長所や短所の理解を深めておく。チームで動く力をつけるため、グループワーク中心の授業となる。更にプレゼンテーション、チーム企画などのグループ活動を行う。						
到達目標	前期は自己理解、他者理解を深めることでコミュニケーション力を上げていく。後期はCSU検定の合格、履歴書を書けるだけの自己理解、就職活動に活かせるコミュニケーション力をつけていく。						
評価方法と基準	テスト結果30%授業態度70%(つぶやきメモの振り返りを含む)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/24	講義・演習	グループワーク:授業内容説明、自己紹介ワーク	教科書1章を読む
2	5/1	講義・演習	グループワーク:好きな物マップ。自分を知ってもら	教科書2章を読む
3	5/8	講義・演習	グループワーク: WHO am I。自己分析	教科書2章を読む
4	5/15	講義・演習	個人ワーク:エゴグラム。心理テスト	授業後、自己分析のまとめ
5	5/22	講義・演習	グループワーク:ジェスチャーゲーム、模擬店	教科書3章を読む
6	6/5	講義・演習	グループワーク: 言葉で伝える図形	教科書2章を読む
7	6/19	講義・演習	プレゼン:おいしいもの自慢。プレゼン基礎	プレゼンテーションについて調べる
8	6/26	講義・演習	グループワーク:もし～がなくなったら(プレスト)	教科書61ページを読む
9	7/3	講義・演習	グループワーク:なぞの宝島(またはわたしのイメ	教科書3章を読む
10	7/10	講義・演習	グループワーク:ストローク。肯定的関り	普段肯定的関りを意識する
11	7/17	講義・演習	グループワーク:日常行動テスト。自己分析	普段自分を理解するように意識する
12	7/24	講義・演習	グループワーク:How much価値観	他者との価値観の違いを意識する
13	8/28	講義・演習	グループワーク:わたしのイメージ(NASA)Ⅰ	教科書3章を読む
14	9/14	講義・演習	グループワーク:わたしのイメージ(NASA)Ⅱ	教科書3章を読む
15	9/21	試験	CSU模擬試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作	
【使用教科書・教材・参考書】				

授業名(時間割 表記)	デッサンⅠB	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	横山寛多
学科・コース	スーパークリエーター科昼二1年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	90 3		
教員の略歴	多摩美術大学油画科卒。絵本作家など。						
授業の学習 内容	デッサンの授業ではモチーフをよく見て描く技術を向上させます。 思いこみやイメージ、先入観を排することが最も大切になります。 観察、描写、修正を繰り返すことで、すこしずつ真摯で正確な観察力が身につ いていきます。 最初は観察の方法から学びます。描写力は二次的に身につきます。						
到達目標	先入観にとらわれず、多角的に観察することで構造をとらえる。 デッサンを通して絵画的な教養の基礎を身につける。 客観描写の精度を上げる。 作品を時間内に仕上げる時間感覚を身につける。						
評価方法と基準	課題ごとに講評を行う。 作品の提出率、完成度、習熟度、授業態度を基準に評価する。						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	4/25	実習	言葉で伝える/クロッキー①	「人物クロッキー」もしくは「模写」	
2	5/9	実習	人体の比率をおぼえる/クロッキー②	「人物クロッキー」もしくは「模写」	
3	5/16	実習	風景スケッチ①/遠近法の話	「人物クロッキー」もしくは「模写」	
4	5/23	実習	風景スケッチ②/4色スケッチ①	「人物クロッキー」もしくは「模写」	
5	5/30	実習	4色スケッチ②	「人物クロッキー」もしくは「模写」	
6	6/6	実習	4色スケッチ③/講評	「人物クロッキー」もしくは「模写」	
7	6/20	実習	手足の形をおぼえる/顔を描く	「人物クロッキー」もしくは「模写」	
8	6/27	実習	クロッキー③/モデルクロッキー	「人物クロッキー」もしくは「模写」	
9	7/4	実習	ラフを描く①/アイデアを複数考える	「人物クロッキー」もしくは「模写」	
10	7/11	実習	構成について/ラフを描く②	「人物クロッキー」もしくは「模写」	
11	7/18	実習	「ワイン瓶と立方体」デッサン①	「人物クロッキー」もしくは「模写」	
12	7/25	実習	「ワイン瓶と立方体」デッサン②	「人物クロッキー」もしくは「模写」	
13	9/5	実習	「有色地写真模写」①	「人物クロッキー」もしくは「模写」	
14	9/12	実習	「有色地写真模写」②/講評	「人物クロッキー」もしくは「模写」	
15	9/19	試験	課題評価試験		
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作		
【使用教科書・教材・参考書】 デッサン道具一式(鉛筆5H～5B、ねり消しゴム、カッター、クロッキー帳)					

授業名(時間割表記)	デッサン I A	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	関田義勇
学科・コース	スーパークリエイター科 昼二1年B	授業形態	実習	総時間 (単位)	60時間 2単位		
教員の略歴	東京藝術大学デザイン科卒業 インテリアデザイナー						
授業の 学習内容	・全ての表現の基礎となる観察力を養う ・対象の魅力や特徴を見つける為の観察力を高めていく ・デッサンで対象の情報を伝える為の表現力の習得を図る ・デッサンを通して観察力と表現力を習得し、各自の制作への活用を図る						
到達目標	・対象の魅力や特徴を見つけられる観察力を身につける ・デッサン表現を通して対象の状況を第三者に伝える事が出来る ・習得した観察力と表現力を各自のこれからの制作に活用出来る						
評価方法と基準	・授業での習得度と理解度 ・作品の内容						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/21	実習	道具の使い方・立体的に表現する	下記持ち物の確認
2	4/28	実習	質感を表現する	前回授業の復習
3	5/12	実習	関係や違いを描く①	前回授業の復習
4	5/19	実習	関係や違いを描く②	前回授業の復習
5	5/26	実習	モノの魅力を描く①	前回授業の復習
6	6/2	実習	モノの魅力を描く②	前回授業の復習
7	6/16	実習	生き物を描く①	前回授業の復習
8	6/23	実習	生き物を描く②	前回授業の復習
9	6/30	実習	生き物を描く③	前回授業の復習
10	7/7	実習	静物デッサン①	前回授業の復習
11	7/14	実習	静物デッサン②	前回授業の復習
12	7/21	実習	静物デッサン③	前回授業の復習
13	8/26	実習	石膏デッサン①	前回授業の復習
14	9/1	実習	石膏デッサン②	前回授業の復習
15	9/8	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作	
【使用教科書・教材・参考書】 鉛筆セット・ねり消しゴム・消しゴム・カッター				

授業名(時間割表記)	コミュニケーションスキルアップⅠA	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	片岡紀予
学科・コース	スーパークリエイター科昼21年C	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	北里大学卒業後、日油株式会社勤務。キャリアコンサルタント。精神福祉士取得、コミュニケーション、心理学講師						
授業の学習 内容	社会人になるための基本的なコミュニケーション力をつける。今後の研修、就職活動に向けて自己理解を深め、自分の長所や短所の理解を深めておく。チームで動く力をつけるため、グループワーク中心の授業となる。更にプレゼンテーション、チーム企画などのグループ活動を行う。						
到達目標	前期は自己理解、他者理解を深めることでコミュニケーション力を上げていく。後期はCSU検定の合格、履歴書を書けるだけの自己理解、就職活動に活かせるコミュニケーション力をつけていく。						
評価方法と基準	テスト結果30%授業態度70%(つぶやきメモの振り返りを含む)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/24	講義・演習	グループワーク:授業内容説明、自己紹介ワーク	教科書1章を読む
2	5/1	講義・演習	グループワーク:好きな物マップ。自分を知ってもら	教科書2章を読む
3	5/8	講義・演習	グループワーク: WHO am I。自己分析	教科書2章を読む
4	5/15	講義・演習	個人ワーク:エゴグラム。心理テスト	授業後、自己分析のまとめ
5	5/22	講義・演習	グループワーク:ジェスチャーゲーム、模擬店	教科書3章を読む
6	6/5	講義・演習	グループワーク: 言葉で伝える図形	教科書2章を読む
7	6/19	講義・演習	プレゼン:おいしいもの自慢。プレゼン基礎	プレゼンテーションについて調べる
8	6/26	講義・演習	グループワーク:もし～がなくなったら(プレスト)	教科書61ページを読む
9	7/3	講義・演習	グループワーク:なぞの宝島(またはわたしのイメ	教科書3章を読む
10	7/10	講義・演習	グループワーク:ストローク。肯定的関り	普段肯定的関りを意識する
11	7/17	講義・演習	グループワーク:日常行動テスト。自己分析	普段自分を理解するように意識する
12	7/24	講義・演習	グループワーク:How much価値観	他者との価値観の違いを意識する
13	8/28	講義・演習	グループワーク:わたしのイメージ(NASA)Ⅰ	教科書3章を読む
14	9/14	講義・演習	グループワーク:わたしのイメージ(NASA)Ⅱ	教科書3章を読む
15	9/21	試験	CSU模擬試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作	
【使用教科書・教材・参考書】				

授業名(時間割表記)	デッサンⅠA	必修 選択	選択	年次	1年	担当教員	鈴木 弥栄子
学科・コース	スーパークリエイター科昼21年C	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	東京藝術大学大学院美術研究科修士課程(油画)修了。画家。						
授業の学習 内容	絵を描くことの基本は観察することです。 アニメ表現として最終的に輪郭と色面で平面的に表現するとしても、その過程において対象を立体的に捉えることが重要です。 デッサンでは、対象を観察する・描写する・修正するという連の作業を反復することで、正確に形を捉える技術や質感描写、陰影描写、画面構成力を身につけます。また、クロッキーでは人体の構造を把握しながら、限られた時間の中での集中力と表現力を養います。						
到達目標	基礎的な観察力と描写力の習得を目標とします。授業内で様々なモチーフを描き、デッサンやクロッキーを重ねることで、絵を描くことへの苦手意識を軽減し、上達する楽しさを実感できるようにします。 前期では画材や描画に慣れ、作品の完成を目指すことを目標とし、後期では個別講評を取り入れながら、より深い理解を目指します。						
評価方法と基準	以下を評価の基準とし、総合的に判断します。 作品提出率、客観的完成度、学生各自の習熟度、授業態度						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習（学習課題）
1	4月22日	講義・実技	ガイダンス／画材説明／グレースケール制作	グレースケールを完成させる
2	5月13日	講義・実技	立方体のスケッチ	身近な箱をスケッチしてみる
3	5月20日	講義・実技	球体と円柱のスケッチ	身近な球体と円柱をスケッチしてみる
4	5月27日	実技	屋外スケッチ	好きなキャラの絵を決めコピーしてくる
5	6月3日	実技	イラスト模写(好きなキャラクター)1	イラスト模写を完成させる
6	6月17日	実技	イラスト模写(好きなキャラクター)2	イラスト模写を完成させる
7	6月24日	実技	写真模写1	逆さまデッサンを完成させる
8	7月1日	実技	写真模写2	逆さまデッサンを完成させる
9	7月8日	実技	りんごのデッサン	身近なものをスケッチしてみる
10	7月15日	実技	慣らしクロッキー(持ち回り)	1日15分のクロッキー(週5枚)
11	7月22日	実技	女性モデルクロッキー	夏休みの課題
12	8月26日	実技	男性モデルクロッキー	1日15分のクロッキー(週5枚)
13	9月2日	実技	手と足のクロッキー	復習(手と足のクロッキー)
14	9月9日	講義・実技	透明化・単純化クロッキー	復習(透明化・単純化クロッキー)
15	9月16日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】適宜プリントを配布				
【持参する画材】デッサン道具一式(鉛筆セット・練りゴム・消しゴム・カッター・クロッキー帳)、講評用メモ帳				

授業名(時間割 表記)	デッサンⅡA	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	荒井
		授業形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
学科・コース	スーパークリエーター 科屋ニ2年C						
教員の略歴	長年TCAのデッサン講師を務める						
授業の学習 内容	デッサンはあらゆるビジュアル表現の基礎、画力、構成力を身につけるため沢山描くことにより上達する						
到達目標	様々な対象、空間を時間をかけた密度の高い絵、短い時間で素速く描くクロッキーなど時間に応じた描写力を習得する						
評価方法と基準	課題提出数 課題評価点数						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/23	講義と実習	図学遠近法について講義 直方体を描く	遠近法を意識して身近なものを描く
2	4/30	講義と実習	図学遠近法について講義 回転体を描く	図学遠近法の復習と身近なものを描く
3	5/7	実習	町中の風景をスケッチ ペン画	遠近法を意識してペンで風景を描く
4	5/14	講義と実習	パースペクティブによる描写Ⅰ 工業製品	日用品を描く 四角いもの
5	5/21	実習	パースペクティブによる描写Ⅱ 空間と物体	日用品を描く 丸みのあるもの
6	5/28	実習	石膏デッサン トルソーor首像	白い布で物体を包み描く
7	6/4	講義と実習	つづき	
8	6/18	実習	身体描写Ⅰ クラスメートを描く	身近な人をモデルにクロッキー
9	6/25	講義と実習	身体描写Ⅱ 女性ヌードクロッキー	人物写真の模写
10	7/2	実習	自然物の描写Ⅰ 花の質感表現	花をスケッチする
11	7/9	実習	自然物の描写Ⅱ 野菜の質感表現	野菜果物を描く
12	7/16	講義と実習	身体描写Ⅲ 男性セミヌードクロッキー	人物写真の模写
13	7/23	実習	石膏デッサン 胸像	身体のパーツ手、足など描く
14	8/27	実習	つづき	
15	9/3	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作	
【使用教科書・教材・参考書】				
鉛筆セット カッターナイフ 練りゴム 消しゴム クロッキー帳				

授業名(時間割 表記)	デッサンⅢB	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	荒井
		授業形態	実習	総時間 (単位)	90 3		
学科・コース	スーパークリエイター 科屋二3年C						
教員の略歴	長年TCAのデッサン講師を務める						
授業の学習 内容	デッサンはあらゆるビジュアル表現の基礎、画力、構成力を身につけるため沢山描くことにより上達する						
到達目標	様々な対象、空間を時間をかけた密度の高い絵、短い時間で素速く描くクロッキーなど時間に応じた描写力を習得する						
評価方法と基準	課題提出数 課題評価点数						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/24	講義と実習	幾何学形態を描くⅠ 直方体の遠近法	図学遠近法の復習と身近なものを描く
2	5/1	講義と実習	幾何学形態を描くⅡ 回転体の遠近法	図学遠近法の復習と身近なものを描く
3	5/8	実習	風景を描くⅠ 空間の遠近法	遠近法を意識して風景を描く
4	5/15	講義と実習	図学遠近法の実践Ⅰ 工業製品をモチーフに	日用品を描く 四角いもの
5	5/22	実習	図学遠近法の実践Ⅱ 日用品をモチーフに	日用品を描く 丸みのあるもの
6	6/5	実習	動物をスケッチ	動物の写真を模写
7	6/19	講義と実習	身体描写Ⅰ 自画像or身体パーツ	手、足、目、耳など細密描写する
8	6/26	実習	身体描写Ⅱ クラスメートを描く	身近な人をモデルにクロッキー
9	7/3	実習	身体描写Ⅲ 女性ヌードクロッキー	人物写真の模写
10	7/10	実習	自然物の描写Ⅰ 花など 質感表現	野菜果物を描く
11	7/17	実習	自然物の描写Ⅱ 野菜など 質感表現	野菜果物を描く
12	7/24	講義と実習	石膏デッサン トルソー	白い紙を丸めて描く
13	8/28	実習	石膏デッサン 胸像	白い紙で包んだものを描く
14	9/4	実習	つづき	
15	9/11	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作	
【使用教科書・教材・参考書】				
鉛筆セット カッターナイフ 練りゴム 消しゴム クロッキー帳				

授業名(時間割 表記)	デッサンⅣA	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	正村
学科・コース	スーパークリエーター科昼二4年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	東北芸術工科大学大学院修了/作家						
授業の学習 内容	デッサンを通じて、平面表現についての知識と技術を学ぶ。 デッサンとは、形、質感、空間を把握するための基礎となります。 美術における基礎科目であり、デザインなどの専門実習へとつながる導入としての位置づけです。 目に見える情報をそのまま描くのではなく、構造や本質を探究して、ものを見る力を養うことを目的としています。						
到達目標	・鉛筆の特性を活かし、明暗(トーン)の階調をコントロールできる。 ・対象の形を客観的に観察し、大きなプロポーションを正しく捉えられる。 ・質感や奥行きを表現するための基本的な描写技法を習得する。 ・構造や本質を捉える観察眼を養う。 ・ものを作ることに向かう基礎体力を身につける。 ・ポートフォリオに掲載可能なデッサン作品の制作						
評価方法と基準	課題の提出数と、デッサン力からなる表現能力から評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/24	実習	剥製	仕上げて提出
2	5/8	実習	〃	仕上げて提出
3	5/15	実習	〃	仕上げて提出
4	5/22	実習	〃	仕上げて提出
5	6/5	実習	人物クロッキー(女性)	仕上げて提出
6	6/19	実習	人物クロッキー(男性)	仕上げて提出
7	6/26	実習	風景デッサン	仕上げて提出
8	7/3	実習	〃	仕上げて提出
9	7/10	実習	細密デッサン(造花)	仕上げて提出
10	7/17	実習	〃	仕上げて提出
11	7/24	実習	石膏デッサン+ α	仕上げて提出
12	8/28	実習	〃	仕上げて提出
13	9/4	実習	〃	仕上げて提出
14	9/11	実習	〃	仕上げて提出
15	9/18	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作	
【使用教科書・教材・参考書】 デッサン道具一式(鉛筆・ねりゴム・ガーゼもしくはティッシュ)				